

大阪・関西万博で感じた、平和と未来への鼓動

2025年4月から開催されている歴史的な祭典、「大阪・関西万博」。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、世界各国のパビリオンが立ち並ぶ光景は、訪れる人々に感動と興奮を与え続けています。私も先日、万博会場に足を運び、その熱気を肌で感じました。

会場に一步足を踏み入ると、まず目に飛び込んできたのは万博のシンボルである「大屋根リング」。木造で創り上げられた巨大な構造物が、空と海を背景に堂々とそびえ立つ姿は、圧巻の一言でした。このリングは、単なる建造物ではなく、多様な文化や思想を持つ人々が、出会い、語り合い、未来を創造していくための「共創」のシンボルであり、未来社会の縮図そのものだと感じます。

万博は、ビジネスパーソンにとっても貴重な学びの場です。世界各国や多くの企業のパビリオンでは、最新のテクノロジーやサステナビリティに関する取り組みが展示されており、仕事に直結するヒントが至る所に散りばめられています。各国や企業の未来戦略やビジョンをダイレクトに感じる事ができ、机上の市場調査やトレンド分析だけでは得られない、貴重な発見を与えてくれます。

さらに、万博で出会う様々な人々との交流、国籍や文化、バックグラウンドが異なる人々との会話は、自身の視野を広げ、新たな視点を与えてくれる、かけがえのない財産となるでしょう。

この万博が開催されている2025年は、終戦からちょうど80年という節目の年にあたります。戦後、焼け野原から復興を遂げ、奇跡的な経済成長を成し遂げた日本の姿は、まさに未来を諦めなかった先人たちの努力の賜物です。

万博は、そうした先人たちの「未来への想い」を今に繋ぎ、次の世代へと受け継いでいく場所なのかもしれません。この場所で、世界中の人々が手を取り合い、平和な未来を築こうとする姿は、私たちが改めて向き合うべきテーマと言えます。

この万博で得られる知見や経験は、一生に一度のものとなるはずです。未来社会の潮流を捉え、新たなアイデアやインスピレーションを得るためにも、ぜひ一度、大阪・関西万博に足を運んでみませんか。

(池田直紀)

当コラムの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。